

韓国のトイレ問題に対する対策や考え方

人間科学部 コミュニケーション学科 3年 澤野愛萌
韓国・大邱カトリック大学

1. SDGs のテーマ

私が取り組んだ SDGs 課題のテーマは「韓国のトイレ問題」についてです。私のテーマは SDGs17 の目標の中でも「目標 6：安全な水とトイレを世界中に」と「目標 11：住み続けられるまちづくりを」の 2 つに大きく関連していると考えます。

2. このテーマを選択した理由

私が韓国について興味を持ち始め、韓国の文化について調べていたときに韓国では中国と同様に使用したトイレットペーパーを流せる場所が少なく、日本のトイレがアジアの中でも発達していることを知りました。この問題について韓国の政府は何かしらの取り組みをしていないのか、取り組みをしているとしたらどのようなものがあるのか、同じアジアである母国の日本と留学先の韓国とでどのような違いがあるのかを知りたいと思い、トイレ問題について調べようと決心しました。

3. 留学先での活動計画と実際に取り組んだ内容、調査・観察したこと

留学前に、下記に示した表のように 1 ヶ月ごとにどのような内容で調査を進めていくのかの計画を立てました。

到着~1 か月	街中や学校・寮のトイレの状況を観察する
~2 か月	政府などの対策・取り組みを知る
~3 か月	問題に対する日本と韓国との違いを見つける
~4 か月	ここまで調べたことをまとめる

<1 ヶ月目>

1 ヶ月目には街中や学校・寮のトイレの現在の状況について観察しました。その調査の結果、学校周辺での飲食店ではトイレットペーパーを流せないところが多く、観光客が多く訪れる都市になれば流せる場所も多くありました。寮のトイレは、ウェットティッシュは流すことができないのですが、少量なら問題なく流せていました。学校内のトイレは、100%流せるトイレになっています。基本的にウォシュレット機能はどこのトイレにもついていなかったです。ウォシュレット機能については、トイレットペーパーが流せるのであれば搭載されている場所もあるのではないかと予想していたのですが、大部分が搭載されていないトイレばかりでした。留學生活中に一ヶ所ウォシュレット機能が搭載されていたトイレを使用したことがあるのですが、そこは釜山にあるホテル

ルのトイレでした。留学前に韓国では空港やホテル、地下鉄、デパートではトイレト
ペーパーを流せるところがほとんどだと知っていましたが、やはりウォシュレット機能
の搭載までは発展していなかったように感じます。韓国にはコンビニにもトイレが設置
されていないことで有名ですが、コンビニにトイレがあることが当たり前だと思っ
ている日本人からするととても不便でした。

<2ヶ月目>

2ヶ月目には政府などの対策・取り組みを知ることを目標に調査をしました。調査結果
は、2018年に韓国行政安全部がトイレのゴミ箱を撤廃させ、トイレトペーパーを流
すようにしようという運動を行ったのですが、「韓国を訪れた外国人が韓国のトイレ問
題について指摘する声があったためこの取り組みはとても良い」などの肯定的な意見が
あったものの、根本的な解決（トイレの配管の強化など）をしないままゴミ箱をなくし
てトイレトペーパーを流そうという取り組みを行ったために批判的な意見も集まって
しまっていたことが分かりました。またこれ以降、政府がトイレ問題についてなんの取
り組みもしていないことも分かりました。韓国人は韓国のトイレについて慣れがあるた
め何も気にしないのかも知れませんが、今後もっと韓国を訪れる観光客が増えたりする
と私は考えるため、現地の人たちも観光客も住み続けられる（居心地よく生活する）こ
とができるためには改善させるための取り組みが必要なのではないかと考えます。

<3ヶ月目>

3ヶ月目にはトイレの問題に対する日本と韓国の違いを見つけることを目標に調査をし
ました。トイレについての各国の歴史に沿って調査したのですが、その結果、まず日本
は大正時代に浄化槽や下水道の整備により水洗式トイレの普及が盛んになり、戦後は和
式から洋式への転換期となり、温水洗浄便座・節水式のタンクレスの便器などの様々な
タイプのトイレが登場し始めたそうです。すなわち日本は大正時代から徐々にトイレの
環境が発展していったと思われま。

韓国は2015年～17年の間に、2016年時点でソウルでほぼ100%下水道が普及される
とともにゴミ箱をなくそう運動によってゴミ箱が撤去され、トイレトペーパーを流せ
るようになりました。この月の調査では、韓国は日本よりもトイレの発展が乏しいこと
を知ることができました。

4. おわりに

今回の活動報告書に取り組んだおかげで、私が知りたかった韓国のトイレ問題について
深く知ることができました。個人的に調査する上でもっとこうすればよかったという点
が、インタビュー調査を行うことができなかった点です。性別だけではなく年齢層によ
っても意見が異なってくると思うので、現地の友達や授業の先生方に直接話を聞けば、
韓国政府がこれからどのような対策・取り組みを行えばこれからの韓国をよくできるの
かまで見出せることができたと思います。今回の問題についてはインタビュー調査を行
えばもっとより良い調査結果を提示できたと思うので、もっと計画的に調査を行えばよ
かったと反省です。

今回の調査を通して、今後よりいい国にするためには、日本も韓国も今ある問題点につ
いて理解を深め、どのような対策をすればいいのかを国民一人一人が声を上げることが
重要だと思いました。